

2009
Wakayama
Otona
College

世界遺産の聖地 紀州和歌山へ短期留学

2009年9月7日(月)～9月18日(金)

前期／9月 7日(月)～9月11日(金)

後期／9月14日(月)～9月18日(金)

大人大学
Wakayama Otona College

生き方を刺激する大人の知的コミュニティ



「知の交流をキーワードにした地域活性化」をテーマに、紀州和歌山の魅力あふれる歴史や文化、郷土色豊かな講座を2週間にわたり開講します。和歌山大学を中心に、高野山大学ほか各分野で活躍する著名な講師陣の協力による、質の高い講義に加え、特別講師による夜間講義や、地域をめぐる課外講義など、楽しみながら教養を深めることができます。通期受講された学生には大学から修了証書が交付されます。和歌山の奥深さを体感できるプログラムです。ぜひご参加ください。

スケジュール

	9	10	11	12	13	14	15~	
	10 1コマ/9:10~10:40	40/50 2コマ/10:50~12:20		20 昼食・休憩	10 3コマ/13:10~14:40	40		
前期	9月 7日(月) 和歌山大学		入学式 オリエンテーション		1 「紀伊国と古代文学」 菊川 恵三		ウエルカムパーティー	
	9月 8日(火) 和歌山大学	2 「和歌の浦と和歌祭」 米田 頼司	3 「城下町和歌山と徳川吉宗」 立花 秀浩		4 「太田城水攻めと雑賀衆」 海津 一郎			
	9月 9日(水) 和歌山大学	5 「紀州と移民-百年にわたる文化交流-」 東 悦子	6 「南紀白浜温泉の形成とイメージ」 神田 孝治		7 「世界遺産・熊野の歴史と魅力」 大河内 智之		15:30~「世界遺産登録5周年記念特別展・熊野三山の至宝-熊野信仰の祈りのかたち-」見学	
	9月 10日(木) 課外講義	バス移動FW/和歌山市→紀の川市(日本最大の直売所めっけもん広場見学・青洲の里「地産地消健康バイキング」)→高野町					特別講義 1 19:00~20:30 「世界遺産高野山と未来への夢」 高橋 寛治	高野山宿坊泊
	9月 11日(金) 高野山大学	8 「弘法大師空海の生涯とその教え」 武内 孝善	9 「キリスト教宣教師の見た高野山」 山陰 加春夫		13:30~霊宝館「特別展第30回高野山大宝蔵展・高野山の名宝」見学 バス移動/高野町→和歌山市※各自希望に応じて下車			
オプション	9月 12日(土)	自由行動・自由時間※別途オプションとして「ほんまもん体験」などをご利用いただけます						
	9月 13日(日)	自由行動・自由時間※別途オプションとして「ほんまもん体験」などをご利用いただけます						
後期	9月 14日(月) 和歌山大学	10 「熊野・食文化の風景」 鈴木 裕範	11 「農山村の資源と地域再生」 藤田 武弘		12 「学生たちの挑戦、中心市街地活性化」 足立 基浩			
	9月 15日(火) 課外講義	バス移動FW/和歌山市→田辺市(梅工場・岡畑農園見学)→秋津野ガルテン(スローフードバイキング)			特別講義 2 13:30~15:00 「秋津野塾・未来への挑戦」 玉井 常貴	①秋津野周辺散策②南方熊楠顕彰館→秋津野ガルテン泊、もしくは農家民泊※希望に応じて		
	9月 16日(水) 課外講義	バス移動FW/田辺市→本宮町	特別講義 3 10:00~11:00 「熊野古道・世界遺産への道と行方」 辻林 浩	ほんまもん体験プログラム・熊野古道健康ウォーキング ※語り部同行(熊野古道弁当)→湯の峰温泉			湯の峰温泉泊	
	9月 17日(木) 課外講義	バス移動FW/本宮町→湯浅町(醤油&重要伝統的建造物群保存地区※語り部・地元古民家にて昼食)		特別講義 4 13:00~14:00 「湯浅のまちづくり」 谷中 敬治	→和歌山市 ※各自希望に応じて下車			
	9月 18日(金) 和歌山大学	13 「高野山から宇宙へ」 尾久土 正己	14 「地域を創る学び、ヒトが育つ地域」 堀内 秀雄	卒業式・さよならパーティー				
オプション	9月 19日(土)	自由行動・自由時間※別途オプションとして「ほんまもん体験」などをご利用いただけます						
	9月 20日(日)	自由行動・自由時間※別途オプションとして「ほんまもん体験」などをご利用いただけます						

※FW=フィールドワーク

メッセージ

紀州和歌山で歴史や文化を学び、 教養を高めながら 地域とふれあう新しい自分磨きのステージです。



知の交流からはじまる地域の活性化



和歌山大学 学長
小田 章

この度、「大人大学～知の交流をキーワードにした地域活性化～」を開催できますことを大変喜んでおります。今日、都市と地方の格差拡大が取り沙汰されている中、一地方である和歌山を知り、体験していただくことは大変意義あるものと認識しています。

和歌山は、今、人口流出や高齢化等余り良いイメージがありませんが、県民の皆さんには微塵の暗さもなく、また、平成16年に世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」の他にも様々な資源があり、「ほんまもん」の豊かさを体験できる地域です。

この地で「大人大学」を開催し、和歌山の歴史・文化・自然・人・風土等についての講義による学問知と地域歴訪による体験知を吸収していただき、地方の、和歌山の「ほんまもん」を実感してください。我々は、十分な「おもてなし」の精神で接し、真摯な「学び」を提供いたします。



和歌山県知事
仁坂 吉伸

この秋、「大人大学」を受講される向学に燃えるあなたを和歌山県民を代表して心から歓迎いたします。「大人大学」は、和歌山県の知を代表する和歌山大学や高野山大学を中心に、歴史、文化、伝統、習俗など幅広い分野で和歌山を本格的に学んでいただく初めての試みであります。「知の交流」をキーワードに、世界遺産登録5周年を迎える「高野・熊野」、万葉びとのあこがれの地であった「和歌の浦」や日本三古湯の一つ「白浜温泉」などを舞台に、数々の歴史ロマンを踊らせながら、日本の心そのものを学んでいただけるとともに、一方では日本の原風景の「熊野古道」や江戸時代からの古い町並みの「湯浅」などを実際に訪れることで、暮らしの中で育まれてきた人々の知恵にもふれたいいただけるものと思います。また、開講の秋は実りの時、きっとバラエティーに富んだ和歌山の食の豊かさを体感いただけること請け合いです。今回の「大人大学」は、皆さんの知的好奇心を満足させることはもちろん、本物の和歌山を知っていただき、和歌山ファンになっていただく絶好の機会となるものと確信しております。是非、「大人大学」にご参加され、和歌山にお越し下さい。



紀陽銀行 頭取
片山 博臣

この度、「大人大学」が新たに創設され、和歌山の魅力ある文化を、そしてその深い歴史を、更にその豊かな自然をテーマとした講座が開講されます。私ども地域金融機関は、今日まで、地域の活性化なくして発展はないという理念のもと、『地域社会の繁栄に貢献し、地域と共に歩む』ことを実践してまいりました。平成17年和歌山大学、平成19年和歌山県と「地域活性化に向けた連携協力に関する協定」を締結しておりますが、その一環として今回「大人大学」の開講に協力させていただき運びとなりました。この「大人大学」は「知の交流」をキーワードに和歌山県に短期間ではありますが留学していただき、和歌山を教材とした興味深い講義や体験学習など地域の方々との様々な交流を通して、和歌山の魅力に直接触れ、和歌山の真髄を体感いただきたいと存じます。全国から向学心並びに好奇心に満ちた皆様方のご参加を心より歓迎申し上げますとともに、是非ともこの機会に更に教養を高めていただき、今まで皆様方が気づけなかった「新たな自分自身」の発見を大いにご期待申し上げます。



和歌山リビング新聞社 代表取締役社長
秦 正


和歌山リビング新聞社はシニアマーケットへの取り組みとして、新しいライフステージを提案するメディアの発行や、新しいビジネスチャンスを創発する情報交流会の開催などを実施してまいりました。弊社は高齢化する社会において、益々変化するであろうライフスタイルに注視しています。日本では世界でも類を見ないスピードで高齢化が進展。今世紀の半ばには、国民のおよそ2.5人に1人が65歳以上というシニア社会になることが予測されています。弊社はこのようなシニアたちがアクティブに暮らし、それぞれの能力や経験を地域社会に還元できるような新しいコミュニティの構築が必要と考えます。知の交流をキーワードにした地域活性化をテーマに、和歌山大学と紀陽銀行との連携を図り「大人大学」の創設を実現しました。今後は地域に密着した情報提供の一環として、保有する機能と使命を昇華させ、地域社会に貢献しながら豊かな生活者が繁栄するコミュニティを「大人大学」を通じて創造しようと考えています。

講義内容

地域に精通した研究者ならではの講座により、和歌山の歴史や文化を深く学べます。

1 和歌山大学 教育学部 教授
菊川 恵三


紀伊国と古代文学



豊かな水をたたえ、東から西へゆったり流れる紀ノ川。南には峨我たる山並みが果てもなく続く紀伊山地。和歌山はこの二つの景観から成りたっています。万葉の旅人は紀ノ川を下り和歌浦に至り、さらに山を越えて南紀をめざしました。和の大のある高台からは、眼前にこの風景を望むことができます。また西に広がる海は、土佐守の紀貫之も通ったのです。

2 和歌山大学 教育学部 准教授
米田 頼司


和歌の浦と和歌祭



和歌の浦は万葉集に詠まれた名所として有名ですが、紀州徳川氏はとくにこの地を選んで家康を祀る東照宮を建立しました。元和7年(1621年)のことで、和歌祭はこの紀州東照宮の例祭ですが、最近の研究で異例の民衆参加の大祭であったことが明らかになってきました。和歌の浦とこの有名な名所に誕生した異例の大祭である和歌祭についてお話します。

3 和歌山県文化財センター 評議員
立花 秀浩

城下町和歌山と徳川吉宗



城下町和歌山は豊臣秀吉が命名した秀吉ゆかりの地です。しかし、豊臣氏滅亡後は浅野氏・紀州徳川氏が和歌山を支配し、城下町を拡張していきます。徳川吉宗は紀州徳川氏2代目光貞の子として生まれました。成人して紀州5代藩主、8代将軍になりますが、それまでは城下町で育ったのです。和歌山で育った子どものころの様子を中心に吉宗の実像に迫ります。

4 和歌山大学 教育学部 教授
海津 一郎

太田城水攻めと雑賀衆



1585年4月、羽柴秀吉は「雑賀惣国」太田の地で空前絶後の水攻めを実施しました。中世の武装自治から、近世の平和統合へと歴史の変革を、現存する堤防遺跡(出水堤防)を科学的に分析することによって解明します。また、1916年論文「太田城水攻めについて」を発表した「謎の研究者X」についても初めて光を当てます。

5 和歌山大学 観光学部 准教授
東 悦子

紀州と移民 -百年にわたる文化交流-



日本から世界各地への移民が始まったのは明治の頃です。和歌山県は全国的にも有数の移民県として知られ、県下には移民母村と呼ばれる地域があります。主に、日高郡美浜町三尾地区、東牟婁郡串本町、太地町及び那智勝浦町を取り上げ、各地域と移民先の特徴を踏まえつつ、紀州和歌山から移民として世界各地に渡った先人達の、百年におよぶ文化交流の歴史を概観します。

6 和歌山大学 観光学部 准教授
神田 孝治

南紀白浜温泉の形成とイメージ



観光客は非日常性を求めると言われています。それでは、観光客が観光地に求める非日常性とはどのようなものなのでしょうか。またそれは、観光地の形成にかなりの影響を与えているのでしょうか。本講義では、こうした問題について、イメージに注目して観光地の形成過程を検討するなかで考察します。事例としては、近代期の南紀白浜温泉を取り上げます。

7 和歌山県立博物館 学芸員
大河内 智之


世界遺産・熊野の歴史と魅力



平成16年に世界遺産に登録された熊野三山(熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社・那智山青岸渡寺)。かつて熊野はこの世にある浄土と考えられ、「蟻の熊野詣」といわれるほどにたくさんの人々が救いを求めて参詣しました。そして現在も癒しの地として多くの人々の心を魅了しています。重層的な熊野の歴史と文化を紐解き、その魅力の源泉を探ります。

8 高野山大学 文学部 教授
武内 孝善


弘法大師空海の生涯とその教え



804年唐にわたり、最新の仏教=密教を持ちかえって真言宗を開いた空海。その62年の生涯は謎だらけです。なぜ、空海は高野山に伽藍を建てたのか、空海にとって高野山とはいかなる場所であつたのか、を中心に、その生涯を概観いたします。あわせて、空海の教えの根幹をなす宇宙観・人間観についてお話しいたします。

9 高野山大学 文学部 教授
山陰 加春夫


キリスト教宣教師の見た高野山



16~17世紀に来日したキリスト教宣教師の眼に写った高野山。そこは、中世ヨーロッパ型の大きな大学(ユニバーシティ)であるとともに、弘法大師という救世主をいただく聖なる共和国でした。本講義では、これらのことをわかりやすく解説することを通して、高野山が1200年の時を経て今なお健在な理由を探ります。

10 和歌山大学 経済学部 准教授
鈴木 裕範

熊野・食文化の風景



明治の文豪幸田露伴は、「紀州に過ぎたるものがふたつある」と言った。そのひとつが、「なれずし」です。熊野に伝承される「なれ」の文化、それは日本の古代に遡り、あるいはその源流はアジアの森にと繋がっています。そして里芋文化に柚べしの文化一、この授業では、食文化の風景をとおり、食と熊野、地域について考えていきます。

11 和歌山大学 観光学部 教授
藤田 武弘

農山村の資源と地域再生



いま、わが国の農山村は存続の危機を迎えています。一方で、世界的な食料危機や食の安全確保に対する不安を背景に、自給率向上や地産地消、スローフードへの期待が高まり、「食」の背後にある「農」の営みや農山村での暮らしへの関心が広がっています。地域資源の宝庫・和歌山で、それらを活かした「地域再生」の取り組みの意義について考えてみたいと思います。

12 和歌山大学 経済学部 准教授
足立 基浩

学生たちの挑戦、中心市街地活性化



中心市街地の回遊性の増大を目標とし、和歌山大学の学生と市民NPOが中心となってまちづくりオープンカフェWithを実施して5年が経過しました。この間、市民参加を基本テーマに「裁判官カフェ」「沖縄カフェ」「物産カフェ」「バリアフリーカフェ」など様々なカフェを実施してきました。中心市街地の回遊性は増加したのか?写真と最新のデータを交えて講義いたします。

13 和歌山大学 観光学部 教授
尾久土 正己


高野山から宇宙へ



世界遺産「高野山」は当時の仏教の宇宙観を地上に再現した言わば「宇宙の最先端研究所」でありました。今、宇宙観測の最前線では120億光年を超える宇宙初期の天体や、太陽系外の惑星の姿を明らかにしようとしています。和歌山は大都市大阪から比較的近いにも拘わらず紀伊半島の聖地とともに美しい夜空が残されています。曼荼羅から現代の宇宙まで、和歌山から考えてみましょう。

14 和歌山大学 生涯学習教育研究センター 教授
堀内 秀雄

地域を創る学び、ヒトが育つ地域



人生は自己紹介の連続です。「地域づくりは人づくり」といいます。そこには、地域の歴史と住民たちの人生が凝縮しています。なぜ、地域の原風景が疲弊したのでしょうか。地域を創る学びのシステム、ヒトが育つ地域の構造化、という2つの視座から、地域再生の現代的条件を共に探りましょう。

特別講義 **1** 高野町 副町長
高橋 寛治

世界遺産高野山と未来への夢



高野山は、今から1200年前に弘法大師空海が拓いた真言密教の根本道場です。開創以来、幾多の歴史の渦の中で今日を迎えましたが、町の中には「全山借地」に代表されるような前近代の仕組みが残されています。これを現在の視点で読み直すことは、未来への可能性を導き出すことにつながります。過去に学びながら高野山の未来について、一緒に考えてみたいと思います。

特別講義 **2** 農業法人株式会社秋津野 代表取締役副社長
玉井 常貴


秋津野塾・未来への挑戦



秋津野(田辺市上秋津)地域は住民による地域づくりの先進地。地域づくり組織「秋津野塾」の設置、和歌山大学との連携による「マスタープラン」策定、地元農家中心に立ち上げた農産物直売所「きてら」と加工グループとして発展した「俺ん家ジュース倶楽部」、旧小学校木造校舎を活用した「秋津野ガルテン」オープンなどこれまでの取り組みと今後の地域戦略を語ります。

特別講義 **3** 和歌山県世界遺産センター センター長
辻林 浩


熊野古道・世界遺産への道と行方



世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は、紀伊山地という豊かな自然の中に立地し、今日まで霊場としての宗教景観を伝え、参詣道の沿道には農山村集落が展開し、農林業を通じた文化的景観が広がります。この霊場と参詣道がどのような経緯で世界遺産に登録されたかを振り返り、線状に延び、広域にわたる熊野古道を、今後どのように保護・保全を行えばよいのかを考えます。

特別講義 **4** 湯浅町商工会 事務局長
谷中 敬治

湯浅のまちづくり



醤油発祥の地であり、商業の中心地として栄えてきた湯浅町中心地の衰退傾向が著しくなったので、平成14年度から「身の丈にあった事業」を真面目にひたすら積み上げる手法で、まちづくりを進めてきました。約70事業を積み上げた結果、来町者は10万人以上増え「人びとが訪れる趣のある美しい、元気な町」に近づいてきました。この湯浅再生について「地域再生の苦勞と喜び、そして王道」を語ります。

充実のプログラム

- 世界遺産の聖地「高野・熊野」が大人の五感に語りかける講座
- 地域の人々とふれあい歴史と文化を学ぶ体感型フィールドワーク
- 大学のキャンパスで刺激的に知的欲求を満たす充実のプログラム
- 独特の切り口で人気の講師陣が登場、個性豊かな18講座
- 大人大学で新しい自分を発見した証しに和歌山大学から修了証書を交付

<p>高野・熊野 世界遺産登録5周年</p>	<p>高野・熊野世界遺産は、神秘的な自然と人々の祈りが形成した景観を特徴とした文化遺産です。紀伊山地は、神話の時代から神々が鎮まる特別な地域と考えられていました。中国から伝来した「仏教」も、深い森林に覆われた紀伊山地の山々を阿弥陀仏や観音菩薩の「浄土」に見立て、仏が持つような</p>	<p>能力を得るための山岳修行の舞台としました。その結果、紀伊山地には、それぞれの起源や内容を異にする「吉野・大峯」、「熊野三山」、「高野山」の三つの「山岳霊場」とそこに至る「参詣道」が生まれ、都をはじめ全国から人々が訪れる所となり、日本の宗教・文化の発展と交流に大きな影響を及ぼしました。</p>
-----------------------------------	--	---



<p>【募集要項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 開催期間／2009年9月7日(月)～9月18日(金) 開催場所／和歌山大学(和歌山市栄谷930) 高野山大学(伊都郡高野町高野山385) 募集人員／40名 最少実施人員／25名 参加資格／原則として年齢が50歳以上の方 受講料／(税込み) 	<ol style="list-style-type: none"> 申込方法／別紙申込書に必要事項を記入の上、下記事務局に郵送もしくはFAXにて送信してください。ホームページからも申し込みができます。 申込締切日／2009年8月7日(金) その他／申し込みが最少実施人員に満たない場合は、大人大学を中止することがあります。中止の決定は大人大学開催日の30日前に行い、事務局からみなさまに連絡をさしあげます。課外講義に伴うバス移動はユタカ交通株式会社に委託します。 												
<table border="1"> <tr> <td>通期</td> <td>9月7日(月)～9月11日(金) 9月14日(月)～9月18日(金)</td> <td>10万5000円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※受講料に含まれるもの／18講義、課外講義の3泊宿泊費(通期、9/10・15・16、朝3・昼4・夜3食付)と移動バス料金、ウエルカムパーティー、さよならパーティー。</td> </tr> <tr> <td>前期</td> <td>9月7日(月)～9月11日(金)</td> <td>5万2500円</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>9月14日(月)～9月18日(金)</td> <td>6万3000円</td> </tr> </table>	通期	9月7日(月)～9月11日(金) 9月14日(月)～9月18日(金)	10万5000円	※受講料に含まれるもの／18講義、課外講義の3泊宿泊費(通期、9/10・15・16、朝3・昼4・夜3食付)と移動バス料金、ウエルカムパーティー、さよならパーティー。			前期	9月7日(月)～9月11日(金)	5万2500円	後期	9月14日(月)～9月18日(金)	6万3000円	<p>主催:大人大学 協力:高野山大学 後援:和歌山県・和歌山県観光連盟 運営:大人大学推進協議会 (和歌山大学・紀陽銀行・和歌山リビング新聞社)</p>
通期	9月7日(月)～9月11日(金) 9月14日(月)～9月18日(金)	10万5000円											
※受講料に含まれるもの／18講義、課外講義の3泊宿泊費(通期、9/10・15・16、朝3・昼4・夜3食付)と移動バス料金、ウエルカムパーティー、さよならパーティー。													
前期	9月7日(月)～9月11日(金)	5万2500円											
後期	9月14日(月)～9月18日(金)	6万3000円											

<p>お申し込み・お問い合わせは</p>	<p>大人大学推進協議会事務局 〒640-8224 和歌山市小野町1丁目18 和歌山リビング新聞社内 TEL.073-428-0281 代表 FAX.073-428-3421 (受付時間/月～金・10:00～18:00<土・日・祝日除く>) http://www.living-web.net/otona/ ©メールアドレス living@waila.or.jp</p>
----------------------	---

大人大学
Wakayama Otona College

大人大学推進協議会事務局(和歌山リビング新聞社) 〒640-8224 和歌山市小野町1丁目18 サンケイ丸の内ビル4階 TEL.073-428-0281 代表 FAX.073-428-3421

【個人情報のお取り扱いについて】お客様の個人情報は、大人大学推進協議会による各種案内、大学情報、旅行情報やその他の生活関連情報をお送りするために使わせていただきます。それらの目的以外に使用する場合には、事前にお客様に通知して、同意をいただきます。またご提供いただいた個人情報は慎重に管理し、紛失、漏洩等を防止するために、完全管理を講じています。

